

第 30 回 法医画像勉強会プログラム

1 日 時：令和 8 年 9 月 26 日（土） 13:00～18:00

2 場 所：東京大学大学院医学系研究科 教育研究棟 14 階鉄門記念講堂
(Google map で検索可能です)

12 時 30 分より受付開始、開場いたします。

3 参加費：会員 3000 円、非会員 4000 円（当日入会可能）

当日入会の方、今年度会費未納会員の方は年会費 1000 円のお支払いをお願いします。

(参加費は受付時 懇親会費 6000 円とともに現金でいただきます。お釣りがないようにご用意をどうぞよろしくお願いいたします。)

4 プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶 榎野陽介（東京大学法医学）

13:05～13:35 特別講演 1 座長 榎野陽介（東京大学法医学）
『医用画像からの 3DCG 再構成を「超速く」「超綺麗に」しただけで何かが変わるのか？』

瀬尾拓史（株式会社サイアメント）

13:40～14:10 特別講演 2 座長 榎野陽介（東京大学法医学）
『東京大学医学部附属病院における死後 CT 研究のあゆみ』

白田 剛（東京大学医学部附属病院 放射線科）

14:10～14:20 休憩

14:20～15:30 一般演題 A 座長 山口るつ子（日本大学法医学）
本村あゆみ（国際医療福祉大学法医学）

A-1 「The Art of Interpreting Gunshot Injuries on Postmortem CT: Lessons from Real Cases」 Rabab Al Mansoori (東京大学法医学)

A-2 「抗血小板薬による特発性出血と外傷性出血との鑑別を要した一例」

東堀遥 (広島大学放射線診断学)

A-3 「CT 画像で穿通/穿孔を鑑別し得た十二指腸潰瘍の一例」

中村磨美 (滋賀医科大学法医学)

A-4 「吸水ポリマー異食による気道閉塞窒息の剖検例」

山口智佳 (札幌医科大学法医学)

A-5 「腹部刺創における死後 CT の落とし穴：腹腔内ガスや腹腔内液を伴わない腹膜穿通例」

福岡柚輝 (福井大学法医学)

A-6 「死後画像の診断における 3D 画像の活用について」

三浦亘智 (原三宿病院)

A-7 「法獣医学解剖事例から考える死後 CT 検査の活用法の検討」

木原友子 (日本獣医生命科学大学野生動物学)

15:40~16:50 一般演題 B

座長 福本航 (広島大学放射線診断学)

小林智哉 (東北大学画像診断学)

B-1 「PMCT は撮影して終わりではない：警察実務を支援する即時画像評価と結果通知体制」 徳江浩之 (群馬大学医学部附属病院放射線診断核医学)

B-2 「筑波メディカルセンター病院における小児全身骨 X 線撮影の調査報告」

神山彩絵 (筑波メディカルセンター病院診療技術部 放射線技術科)

B-3 「早期死後 CT による心臓死の推定：左室容積の診断的有用性」

萩田智明 (福井大学法医学)

B-4 「胸部刺創における包丁抜去前後の死後 CT 画像 Fusion による金属アーチファクトの影響を低減した三次元再構成画像」

川角貴哉 (島根大学医学部附属病院放射線部)

B-5 「スペクトラルイメージングによる Ht 推定に関する基礎検討」

室畑直登 (新潟大学大学院医歯保健学研究科)

B-6 「Volume Rendering 画像を用いた深層学習による年齢推定：Standard VR と Photorealistic VR の比較」

稲森瑠星 (東北大学画像診断学)

B-7「遺体の 3D 記録における 3D Gaussian Splatting の応用 —撮影手法が再構成品質に及ぼす影響—」
福田治紀（群馬大学法医学）

16:50～17:00 休憩

17:00～17:50 特別シンポジウム

日本法医画像研究会は学会化すべきか？ - 認定制度を目指して -

座長 主田英之（徳島大学法医学）

槇野陽介（東京大学法医学）

「法律家が考える法医画像の意義 — 学会設立への法的意義」

水沼直樹（東京神楽坂法律事務所弁護士・海事補佐人

福島県立医科大学 特任教授）

「国際法医画像学会 ISFRI における教育ワーキンググループ報告」

槇野陽介（東京大学法医学）

「死後画像診断の教育と認定制度に向けて — ワーキンググループの将来構
想」

兵頭秀樹（福井大学法医学）

17:50～17:55 閉会の挨拶

槇野陽介（東京大学法医学）

次回大会長挨拶

奥田貴久（日本大学法医学）

5 意見交換会 18:00～

場所：東京大学大学院医学系研究科 教育研究棟 13 階

カポペリカーノ 会費 6000 円

* 一般演題は発表 10 分（7 分発表 3 分質疑を目安）、時間厳守でお願いします。

* ファイル名は「演題番号__演者名（所属名）」としてください。

（例：A-8__鉄門花子（東京大学）.pptx）

* 講演・演題は、パワーポイントでご作成の上、事前送付あるいは USB でお持ち込みください。

連絡先：03-5841-3367 東京大学大学院医学系研究科 法医学分野

e-mail: forensicws@m.u-tokyo.ac.jp